



第4回日本木材保存協会功績賞

「木材の防腐性能及びその評価に関する研究とその普及活動への貢献」

桃原郁夫（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 関西支所）

1991年3月に東京大学農学部林産学科博士課程を修了後、学術振興会特別研究員を経て1991年10月林野庁森林総合研究所に入所。その後の組織改編等により、(独)森林総合研究所、(国研)森林総合研究所等を経て現在に至る。森林総合研究所では、木材保存に関する研究及び研究成果の普及等に従事。

業績概要

木材保存全般に関する研究を実施し、木材腐朽菌の胞子が付着することによって引き起こされる腐朽に関する研究や、加圧注入前の乾燥条件が薬液の注入性に及ぼす影響に関する研究、杭試験の評価方法に関する研究などを実施するとともに、これら一連の研究から得た知見に基づき、建築、土木、農林水産業等に係る委員としても活動しています。

日本木材保存協会との関わりにおいては、日本木材保存協会規格の作成・改正等に関わってきたほか、普及活動において、「木製外構材のメンテナンスマニュアル」、木材保存協会ウェブサイトにおける「野外杭試験」紹介ページ、「木材保存入門」の執筆などを通して、木材保存に関する一連の成果を業界関係者、木材関連団体、建築・土木関係者、行政などに広く普及することに貢献しました。また、総説や研究論文を単独又は共著として公表するなど、「木材保存誌」を通じた成果の普及においても貢献しました。

研究業績

- 1) 桃原郁夫：木材保存剤及び保存処理法の多様化と今後，木材保存，**44**，176-179（2018）。
- 2) 宮内輝久，桃原郁夫ほか：保存処理木材中に含まれる DDAC の定量分析方法の効率化，木材保存，**42**，303-308（2016）。
- 3) 桃原郁夫：木材腐朽のメカニズムとその防止，木材保存，**42**，132-137（2016）。
- 4) 和田朋子，桃原郁夫ほか：腐朽した土台材中に存在する菌類の菌叢解析，木材保存，**39**，280-290（2013）。
- 5) 松永浩史，桃原郁夫ほか：LVSEM-EDX を用いた CUAZ 処理材における銅の溶脱過程の可視化，木材保存，**39**，86-90（2013）。
- 6) 栗崎宏，桃原郁夫ほか：JAS K4保存処理スギ丸棒の地際部寿命推定の試み，木材保存，**38**，163-171（2012）。
- 7) 大村和香子，桃原郁夫ほか：アメリカカンザイシロアリに対する各種木材保存剤の性能評価（II），木材保存，**37**，273-278（2011）。
- 8) 酒井温子，桃原郁夫ほか：大断面スギ心材の乾燥と薬剤注入（1），木材保存，**37**，12-19（2011）。
- 9) 桃原郁夫：JIS K 1570「木材保存剤」及び JIS K 1571「木材保存剤－性能基準及びその試験方法」の改正について，木材保存，**36**，260-263（2010）。

